

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】令和4年11月16日(2022.11.16)

【国際公開番号】WO2022/118938  
 【出願番号】特願2022-532607(P2022-532607)

【国際特許分類】

H 0 1 M 1 0 / 0 5 6 2 ( 2 0 1 0 . 0 1 )

H 0 1 M 1 0 / 0 5 8 5 ( 2 0 1 0 . 0 1 )

B 3 2 B 2 7 / 3 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【F I】

H 0 1 M 1 0 / 0 5 6 2

H 0 1 M 1 0 / 0 5 8 5

B 3 2 B 2 7 / 3 6

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月31日(2022.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

全固体電池の製造において、全固体電池素子を加圧する工程に用いられる工程フィルムであって、

前記工程フィルムは、前記工程フィルムで前記全固体電池素子を被覆した状態で前記全固体電池素子を加圧し、その後前記全固体電池素子から剥離される用途に用いられ、

前記工程フィルムは、少なくとも、外側から、基材層及び熱融着性樹脂層を備える積層体から構成されており、

30

前記工程フィルムの周縁部の前記熱融着性樹脂同士を少なくとも一部をヒートシールした状態で前記加圧に供される、工程フィルム。

【請求項2】

前記熱融着性樹脂層の融点が、140以上240以下である、請求項1に記載の工程フィルム。

【請求項3】

前記熱融着性樹脂層が、ポリオレフィン骨格を有する、請求項1又は2に記載の工程フィルム。

【請求項4】

前記基材層の融点が、200以上である、請求項1～3のいずれか1項に記載の工程フィルム。

40

【請求項5】

緩衝層を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の工程フィルム。

【請求項6】

水蒸気バリア層を含む、請求項1～5のいずれか1項に記載の工程フィルム。

【請求項7】

40、100%RHの環境に48時間静置した場合の水蒸気透過量が、 $10\text{cc}/\text{m}^2/\text{day}$ 以下である、請求項1～6のいずれか1項に記載の工程フィルム。

【請求項8】

前記熱融着性樹脂層が、水分吸着材料を含む、請求項1～7のいずれか1項に記載の工

50

程フィルム。

【請求項 9】

前記熱融着性樹脂層が、硫化水素吸収材料を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の工程フィルム。

【請求項 10】

全固体電池の製造方法であって、

全固体電池素子を工程フィルムで被覆した状態で、前記全固体電池素子を加圧する工程と、

前記工程フィルムを前記全固体電池素子から剥離する工程と、

前記全固体電池素子を包装材料で封止する工程と、

10

を備え、

前記工程フィルムは、少なくとも、外側から、基材層及び熱融着性樹脂層を備える積層体から構成されており、

前記工程フィルムで前記全固体電池素子を被覆した状態で前記工程フィルムの周縁部の前記熱融着性樹脂同士を少なくとも一部をヒートシールした状態で前記加圧に供される、全固体電池の製造方法。

20

30

40

50